學生の自發的愛國心表示行爲

るゝが如き習慣の存在せるを知れり。而して其の背後に於て中學校、專門學校等が、鄕土遙けき土地に眠むれる兵卒の墳墓を、花もて飾るの義務に忠實なるを記憶せざるべからず。

凡そ未知の土地に埋葬せらるゝ兵卒にして、其の姻族も會葬するに由なき程悲慘なること、世にありとも思はれず。

見よ、戰塵靜まりて其の跡を見れば、實にも此の世に在る凡ての憂愁陰鬱の氣、悽然として襲ひ來るの想あり。されど病院に於て臨終の苦痛の後、死者と其の周圍にある者とは、更に一層の悲愁慘として面を向くべからざる光景を呈す。是れ故に我中學生は、先づ病院に改築せられたる學校より出發する葬式に列從せり。されば通行人は、今や兵卒の棺後に中學生が喪衣を着して、佛國少年を代表するを目睹するを得べし。

然れどもこは勿論生徒の任意にして、即ち學生の愛國心表示行爲に無限の價値を與ふる所以なりとす。命令の詞に從ひて餘義なく之を爲すにあらず、又國家の道德を維持し、必要なる戰鬪に能ふ限り精力を傾倒する爲に、組織的兒童敎授法に依り爲されたる虛僞行爲に非ずして、自動的にして深淵なる感情の自由意思の發露なり。

往時、人は「抑學校精神とは如何なるものなるや」を追究せり。今や祖國は危急存亡の秋に方り曾て見ざる勇と美との化身となり、而して學校精神の如きは、既に業に問題にあらざるなり。

第七節　勃牙利兵の手紙

（一九一六年一月廿七日エヒョー所載）

（摘要）一、本篇コンチネンタル・タイムスのソフィア特派員が、通信檢閱所に於て見たる、勃牙利兵の家鄕に送る手紙に關する通信なり。

一、戰場に在る勃牙利兵は、戰士たると共にまた實に善良なる家父なり。彼等の多くは家鄕に對し、子女の敎育より耕作の事、薪炭の用意、家畜の飼

養等に至るまで、詳細なる注意を書き送るを常とす。

家庭に對する注意

一、夫婦序あるは勃牙利人の一特色と認むべく、又彼等は宗教心に富み、神の加護に依りて必ず故郷に凱旋し得べきを信ぜり。

一、熱烈なる愛國心も亦手紙の中に漲れり。戰に在る子の「胸に十字架の勳章輝かして凱旋せむ」といひ、故郷の父の「死を期して奮戰せよ」と書き送れる、是れ其の一端を窺はしむるものなり。

* * *

兵士の手紙は殆ど總て小型の用紙に鉛筆を以て書き、之を封緘して送るを常とす。手紙の意味は多く『耕作を怠る勿れ。冬の薪炭をよく用意せよ。家畜の世話を忽にすべからず』等、皆言ひ合はせたるが如く家事の指圖をなし、次には眞面目に『家庭に不和の生ずるが如きことあるべからず。小兒の養育に意を須ひ、暖き衣を着せ、學校始まらば登校せしめよ。子供を叱責すること嚴に過ぐるは好ましからず』とせり。是に由て觀るに、勃牙利の戰場に

兵士としてのみならず家父として善良

夫婦序あり

ある人々は、實に勇敢なる戰士たるのみならず、又實に善良なる家父なり。手紙の冒頭と末尾とには、夫婦の關係を示せり。されど感傷的なる文句は、唯若き兵士の新妻又は情人に送らむとする手紙に於て之を見るのみ。冒頭には『吾が妻よ』とし、末尾は『汝の夫』を以て結ぶを通例とす。然れども此の文句のみを見て、直ちに勃牙利の農民は濃かなる情愛を缺く者と思はゞ、其は誤れりと言はざるを得ざるべし。渠は他人の眼前に於て決して見苦しきことせず。其の手紙の檢閲せらるゝことを知れるが故に、强ひて之を書かざるのみ。夫婦序あるは勃牙利人の一特色なり。或る兵士は、其の出發に際して總て他の兵士等の夫人は夫の出征を送らむ爲に停車場に出でたるに獨り我妻のみは見えざりしとて、遺憾の情を漏らせるに、是れ恐らく家事の多忙なりしが爲なるべければ敢て咎めずと書したるあり。或る妻の手紙に『妾は今始めて郎君の眞價値を知れり。郎君のこれ迄の仕事は、皆妾の肩に振り懸り來て、始めて從來妾が兎や角と差出がましき事を申上げたるの非なりし

を國得せり。今迄の惡しき事ども許し給へ』と認めたるものあり。夫婦間の手紙には毫も愁訴の文句あるを見ず。『我等は皆無事に暮せり。汝は唯家事に勞めば足る、我等がこと決して心配するに及ばず』と夫書けば、妻は又『妾等は皆無事にてよく働き居れり』と答ふ。彼等の宗教心に富めることは又手紙の文句に依りて歴然たり。彼等は其の希望と確信とを神に捧げ、自分等は神の加護によりて當然故郷に無事に凱旋し得べしと信じ居れり。即ち『心配すな、神は我れを守護し決して我れを見捨て給はず。我れは既に幾度となく彈雨の中を潜りたれど幸にして今尚斯の如く壯健なり』など認めたるもあり。熱烈なる愛國的精神も亦多くの手紙の中に漲り居れるを見る。曰く『我が村の知己共に宜しく傳言せよ。我は胸に十字架の勳章輝かして凱旋すと傳へよ』と。又故郷の父が戰場に在る其の子に送れる手紙に、『親の恥辱となるが如き振舞あること勿れ。我が若き頃爲したるが如く、死を期して奮戰せよ』と書せるもあり。

宗教心

愛國心

第八節　海外に於ける獨逸人の愛國心

（一九一四年十一月二十四日ヴォッ（所載）

（摘要）本篇はプロフエッソル・ルードルフ・オイケン博士の論文にして、開戰以來在外獨逸人が世の虚報に謬らるゝことなく、克く正義と勝利とに對する信念を保持し、熱烈なる愛國心を發揮せるの狀を述べ、在外同胞に對して、祖國の現狀如何に就き、其の眞相を迅速に報道すべき特種の機關を設くるの必要を說き、更に英軍の爲に捕虜となりて虐待せられつゝある同胞を、速に救濟するの策に出づべしと主張せるものなり。

在鄉獨逸人と在外獨逸人と一致結合

*　*　*

吾等獨逸人の今日嘗めつゝある種々なる經驗の中、其の最も美しくして高尚なるは、實に彼の在外獨逸人と吾人との密接なる一致結合と、其の時局に對する熱心且つ勇敢なる關與とに外ならず。獨逸人が身一度海外に到るとき

は、直に其の故郷と遠ざかりて、遂には他の國民性に同化せらるゝの虞ありとは、吾人の嘗て屢、耳にしたる所なり。然れども過去數十年の歴史は、既に斯る非難を打消して餘あるのみならず、今日在外獨逸人の我が祖國に對する感情の發露は、實に總ての期待を超越して、獨逸史上の光彩ある頁を作り、此の大戰に際して吾等をして大いに意を強うせしむるに足れり。

先づ第一に謝すべきは、在外獨逸人が吾等の正義と勝利とに對して、動かざる大信任を有することに在り。彼等も初めの程は、或は虚傳に驚かされ、或は我が將卒に關する狂氣じみたる報道に謬られ、遂には萬事休すとさへ思惟したる程なり。されど吾等忠良なる國民は、斯かる奸手段によりて決して離間さるゝものにあらず。彼等は其の憎惡と不信との氣圍氣中に在りて、尚忠愛と信賴との道を謬ることなかりき。

彼等は單に其の信念に於てのみ止まることなく、更に之を强く行爲に表はせり。即ち先づ虚報誤傳によりて謬られたる外國に對して、其の眞相を知らしめむことに努力を怠らず。其の主たるものは、合衆國に在る獨逸人なりとす。獨米的新聞が權利と眞理とに對して熱心に努力し、ミュンスターベルヒ、クノー・フランケ等の如き獨逸種米人が、英米的新聞紙上に其の活動を爲すが如きに止まらず、獨逸人は更に現在の時局に關する眞事實と其の眞價値とを、英國種米人の社會に普及擴張せむとするの目的を以つて、紐育に英字週刊新聞『祖國』（ファーザーランド）を創設せり。此の新聞は亞米利加の識者階級に歡迎せられ、其の讀者既に十萬を超過するに至れり。其の他南米に於ては西班牙語の新聞を經營し、又支那に於ては上海の「オストアジアーチッシェ・ロイド」紙ありて編輯長フィンク氏の管理の下に、最も有爲巧妙なる方法を以て、極東に於ける獨逸と獨逸文化との爲に奮闘努力しつゝあり。吾人は獨逸新聞を、此の重要なる支那に於て尚新しく創設せられむことを切に期待するものなり。

到る處に於て募集せられたる獻金の額は、其の人員の數に比して、甚だ多大なりと言ふべし。又各地に散在せる壯丁が萬難を冒して歸國し、以て獨逸軍

合衆國に在る獨逸人

在外獨逸人の經營に係る新聞

英國の制海權も外獨逸人の愛國心をも妨ぐるには足らず

支那在留の獨逸人も青島に馳せ集まる

隊に加はらむとするの熱情實に大なるものあり。是れ英國の制海權と無鐵砲とを以てするも、防止すること能はざる所にして、實に如何なる方法を以てするも、此の祖國に對する義務を以て、最も大なる本務とする、勇敢にして忠順なる心の發露を、妨ぐること能はざるべし。就中彼の支那に居住せる服役義務者等が、其の到底守るべからざること初めより明かなる青島の地に向て集中奔馳したるが如きは、著明なる現象なり。同地よりの一通信にして、十一月・三日の「フランクフルテル・ツァイツング」紙によりて公表せられたるものに、次の句あり。

『總てのこと皆用意整へり。富みたるも貧しきも、遠きも近きも、皆共に援けむと馳せ加はりて此の地にあり。召集に應ぜむが爲、二人の者は十一日間馬に乘り、他の三人は其の義務を充さむとして二十三日間徒歩せり。』

要之今や他國民より甚しき憎惡と不信とを受けつゝあるの時に際して、全獨逸民族が一致團結して確固其の國土を守るの狀は、吾人をして大なる喜びと強みとを感ぜしむるなり。又獨逸の文物獨逸の思想存せる所には、到る處として現在の吾等が戰ひの趣旨を了解し、之を信任し且つ之に尊敬の念を拂はざるなきは、明白々の事象なり。此の點に於て先づ我が新聞紙が大に在外獨逸人の活動の狀況を報道するに勉めむことを望む。例へば前記週刊新聞『祖國』の犧牲的精神に富める偉大なる事業が、新聞紙によりて充分に報道せられざりしが如きは、吾人の最も遺憾とする所なり。次に吾等目下の狀況如何は、在外同胞の切に聞かむとする所にして、之が爲に彼等の心勞すること尠しとせず。故に吾等は彼等在外同胞に對し、戰爭狀態及歐洲全體の政治關係に就て、絕えず正確迅速に報道せざるべからず。此の目的を達せむが爲には恐らく特種の機關を要すべし。此の點に於て先づ我が新聞紙が大に在外獨逸人の活動の狀況を報道するに勉めむことを望む。例へば前記週刊新聞『祖國』の犧牲的精神に富める偉大なる事業が、新聞紙によりて充分に報道せられざりしが如きは、吾人の最も遺憾とする所なり。次に吾等目下の狀況如何は、在外同胞の切に聞かむとする所にして、之が爲に彼等の心勞すること尠しとせず。故に吾等は彼等在外同胞に對し、戰爭狀態及歐洲全體の政治關係に就て、絕えず正確迅速に報道せざるべからず。此の目的を達せむが爲には恐らく特種の機關を要すべし。此の點に於て先づ我が新聞紙が大に在外同胞に對し迅速に事實の眞相を報道すべし

元來吾人は、我が國民に對してのみ其の意を用ゆべきに非ずして、他の國民をも大いに念頭に置かざるべからざるを奈何せむ。

俘虜虐待問題

向一つ吾人の考ふべきは、最近甚しく世人の注意を喚起したる、彼の敵の爲に俘虜となりたる我獨逸人に對する虐待問題なり。此の問題に就ては、種々の方面より多くの悲むべきことを聞く。而して其の中最も甚しきは、英國に於ける俘虜待遇の狀態なりとす。最も信ずべき方面、例へば漢堡醫師會の報告によれば、其の狀態は凡ゆる無鐵砲と殘忍とを超越したるものにして、實に吾等文明國民の到底不可能と思はるゝ程なりと云ふ。其の堪ふべからざる衣食住の爲に俘虜の死亡數益〻增加するとせば、其の責は英國政府に在り。而して其の當然の結果として、英國民も亦之を負はざるべからず。英國民は議會政治と責任內閣とを有するを以て一の誇りとせり。然らば其の政府の殘忍非道は、是れ國民の責任にあらざるか。其の他吾人の憤慨に堪へざるは、倫敦の市民をして每日獨逸の俘虜を觀覽せしめ、又總ての階級より成れる此等獨逸人を、恰も野獸の如くに看做し、之に向つて嘲罵せしむる。獨逸にして之が報復手段に出づることありとも、之に對して何等攻擊の辭なけん。されど其の

報復手段は、敵を怒らし敵を苦めむが爲に非ずして、我が虐待せられつゝある同胞を救ふの緊急手段なるを要す。是れ實に殘忍なる敵人をして、卿か溫順ならしむる唯一の方法なり。若し英國にして、斯る待遇法によりて獨逸人の生命に危害を加へ、獨逸の名譽を傷つくるの擧を止めざらむか、我が政府は權利のみならず寧ろ義務として、更に深酷なる手段を行ひ、以て同胞を救濟せざるを得ず。元來殘忍なる心情を有する者に對して道義を云々するも何等の效なし。憑むべきは唯力あるのみ。吾人は彼の地に在る同胞を、敵の盲目にして野蠻なる處置に放任するを得ざるなり。

吾人は今や刮目すべき、否多くの點に於て、未曾有の時代に立てり。此の事件の解決と處置とは、實に最も困難なる問題なりとす。吾人の望む所は我が當路の人士が人道と精力との權衡を失するなく、以て適當の途に到達せむことに在り。

第九節　時局と獨逸都市の活動

（一九一五年十月アメリカン、レビュー所載）

（摘要）一、本篇は米國スウォースモーア專門學校教授ローバート・シー・ブルックス氏が、獨逸都市の戰時事業に關し、國民自治評論雜誌上に揭載したる記事を引用して、同國の市が國民生活上極めて重要なる地位を占め、多方面に亘りて大に活動しつゝあるの狀を論じたるものなり。

一、多數の都市は小麥及麥粉の消費を制限する爲、麵麭券の制を設けたるが、人民は愛國の熱情を以て盛に之を歡迎せり。又數多の市は投機を抑制せむが爲、肉類、馬鈴薯、小麥等の糧食を買收して之を貯藏せり。

一、失業問題解決の爲、伯林市の如きは豫算に定めたる土木事業、其の他の企業を繼續し、又失業者に對する現金救助の爲、多額の費用を支出せり。

一、伯林市は開戰以來七箇月間に、出征軍人家族救助の爲、一千萬弗を支出し、貧家の學童に對しても多大の金額を給與し、又貧困なる市民に土地を分貸して野菜を作らしむるの方法を採れり。

一、伯林市は四個の協會と協同して戰時貸付銀行を設立せり。其の資本金は百萬馬克にして、其の十分の六は市より、十分の四は四協會より之を出資す。

一、市は戰爭の爲に特殊の負擔を課せられ、伯林市の如きは、本年（一九一五年度）の豫算九千七百萬弗（戰時救助費を含まず）に上れるの有樣なるに拘らず、更に今年は電燈事業を市營となすことを完成せむとしつゝあり。

一、今や獨逸の當局者は戰後に於て起るべき問題に就ても、盛なる攻究を爲しつゝあり。

* * *

獨逸都市の事業は、之を我が米國都市の事業に比すれば遙に多數且つ複雜にして、獨逸の國民生活に於て、市が如何に重要なる地位を占むるかを見ば、蓋

麵麭券の制と其の實行上の困難

し思ひ半に過ぐるものあるべし。スウォースモーア專門學校教授ローバート・シーブルックスは國民自治評論雜誌に、獨逸の都市が戰爭の影響に因りて新設したる事業の二三を掲載せり。

小麥及麥粉の消費制限問題解決の手段として、市が麵麭券の制を採用したることは、世人の多大なる注意を喚起し、ブルックス教授は、此の計畫の實行に當りて遭遇せる困難に就き、聊か記述する所あり。即ち最初麵麭券の配付事務は警察官に委任せられたりと雖、此の新制度に因りて行政上及宗教上の事務を增大し、忽ちにして之が補助の職員を任用せざるべからざるの必要を生じたり。是に於てか或地方に於ては、市民自ら進んで無報酬を以て本事業に助力せむことを志願するに至れり。

當初麵麭券は、男女、年齡、職業の別なく同一の標準を以て、毎週各人毎に發行せられたりしも、此の方法に在りては、日傭勞働者の如く麵麭を以て缺くべからざる主食物となせる者も、裕福にして自由に他の食物を購求することを得

麵麭券發行の目的と人民の之に對する態度

るの狀態に在る自由職業者又は官公吏、事務員等と同一の麵麭を受くるに過ぎず。或都市は此の方法の極めて不公平なるを認めて、年齡、職業、男女等の別に從ひ稍、複雜なる方法を採り、其の結果、麵麭券の配付事務は著しく增大し、且つ複雜となれり。又他の諸市に於ては、一樣の麵麭券を配付するの制を繼續し、裕福なる人々に對しては慈善事業として該券の返還を求め、大に之が必要を感ずる人々に之を配付するの方法を採れり。ハノーヴァー市の如きは、全然麵麭券を用ゐず、麵麭屋に供給せらるゝ麥粉の量を監督して、以て消費量を減少せむとせり。此の方法に對する反對論者は、麵麭製造業者が其の製品を顧客に對して公平に分配するや否や疑はしきのみならず、却て裕福なる者に便宜を與ふることなきを保せずと批難せり。

麵麭の消費を制限するの計畫を實行するに當りては、孰れも著しき困難を伴ひ、獨逸人は常に麵麭券の發行は、萬一今年の收穫十分ならざる場合に對する豫備手段たるに過ぎずして、決して近く糧食の缺乏すべきことを示すもの

に非らずと主張せり。人民は到る處愛國の熱情を以て此の方法を歡迎し、最初より之が成功を祈り、政府か諸種の小麥に對し最高價格を定めながら、麥粉及碾割穀物の取引に對し其の最高價格を定むることを怠れるを批難する者多し。獨逸の諸市は、投機者の投機を抑制せむが爲、多量の糧食（生肉、罐詰肉、馬鈴薯、小麥等）を買收して之を貯藏せり。

伯林市の軍人家族救助事業

市は新に下士卒家族の救助事業を開始せり。今一例を擧ぐれば、伯林市は開戰以來七箇月間に下士卒家族救助の爲一千萬弗を支出し、之に對する帝國國庫の補助も亦同額に上る。救助家族の數は九萬を超えたり。

失業問題

失業問題に就ては、開戰の當時盛に論議せられたる所にして、伯林市は此の問題解決の一手段として、既に豫算に定めたる土木事業其の他の企業を繼續することゝし、尙ほ多數勞働者は陸軍省の需に應じて之を堡壘工事に從事せしめ、必要なる場合には之に被服を給與したり。失業者に對して市の支給したる現金救助額は、二月末迄に實に五十七萬千七百七十二弗に上れり。

下士卒の家族にして、其の家賃を支拂ふこと能はざる者に對しては、市は家賃の支拂に充つべき條件を以て補助金を下付し、失業者に對しても亦同樣の救助を施せり。後伯林市住宅監督部員を以て委員會を組織し、其の事務所を市內十箇所に設け、私立協會の助力を得て、貸家主と借家人との爭を調停するに努むる所あり。市は貧家の學童に對しても多大の金額を給與し、又二百「エーカー」餘の土地を市民に分貸し、肥料及種子を無料にして支給して野菜を作らしむ。又市は、巨額の資產を有する四個の協會と協同して、戰時貸付銀行を設立せり。其の資本金は百萬馬克にして、其の十分の六は市より、十分の四は四協會より之を出資せり。帝國銀行は該貸付銀行の需に應じて百萬馬克を貸出し、市は其の半額に對して擔保を提供す。斯の如くにして抵當取戻權の閉鎖を防止することを得たり。

伯林市の戰時貸付銀行

伯林市は、市民に對して食料品を供給するの目的を以て、三月初旬迄に食料品買收費及四百萬弗以上を支出し、其の資上金の收入は百三十萬餘弗を算せ

伯林市の食料品供給

伯林市の豫算

り。市は又豚八萬頭の買收及屠殺を爲したり。之に關しては、市に於て十分なる貯藏の便宜を有するや否やは問題なりと稱せらる。若し遽かに平和克復を告ぐるが如きことあらむか、市は斯る莫大なる食料品貯藏の爲めに、財政上頗る困難を招くことあるに至るべし。

全國到る處の市に於ても、亦小規模ながら伯林市の例に倣ひて諸般の施設をなせり。開戰以來、市の租稅其の他の歲入は著しく減少し、其の結果として稅率は著しく高められたり。伯林市本年度の豫算額は九千七百萬弗に上れり。但し此の內には貸付金約千七百萬弗を含み、戰時救助費は之を除外せり。該救助費は、後に總括し債券を發行して之を支出するの計畫にして、其の一部は帝國及王國より補助せらるゝ筈なり。

斯の如く伯林市は、戰爭の爲めに特殊の負擔を課せられたるに拘らず、尙ほ今年は電燈事業を市營と爲すことを完成せむとしつゝあり。市は特權を以て、千九百十五年十月一日を以て電燈設備を買收するの權利を留保したり。

盛に戰後の問題を講究す

之は極めて大規模の計畫なれども、市當局者は十分なる成功の確信を以て、所有權の移轉に關する準備を爲せり。斯る確信の正當なることを證せむが爲、ブルックス敎授は、千九百十四年度に於ける獨逸貯蓄銀行の預金額が、拂戾額よりも六千四百二十六萬弗の超過を示せることを指摘せり。獨逸の當局者は、實に平時『に於て戰爭の準備をなせ』との箴言を、逆に實行しつゝあり。即ち今や彼等は、戰爭の眞最中に在り乍ら、平和克復の曉に於て起るべき問題に處するの策を盛に講究しつゝあるなり。又諸種の救濟事業は、戰後に於ても益〻必要なること論を俟たず。而して失業問題は現在よりも更に盛に講究せらるゝに至るべく、食糧倉庫、穀物倉庫、市設麵麭製造所、屠殺場、牛乳供給所及養畜場に就ては、戰後に於ても之を繼續するの必要ありと主張せらる。

第十節　獨逸に於ける自由組國協會

（一九一五年三月二十五日エヒョー所載）

（摘要）一、千九百十五年二月、獨逸に於ける各種の階級、職業及黨派に屬する人々は、帝國議會議事堂に會合して、『自由祖國協會』なるものを設立せむことを議決せり。本篇は即ち其の設立趣意書竝之が設立報告に對する帝國宰相の回答を掲げたるものなり。

一、本協會は政黨政派の關係を超越し、獨立自由なる輿論の特別機關にして、其趣旨とする所は、戰時に於て勃興したる國民的統一の潮流を戰後まで維持繼續し、此の一致協同の思想を益、旺盛ならしめ、以て國民發展の針路たらしめむとするに在り。

一、本協會の遂行せむとする目的は、(一)國民精神の統一に必要なる現行法の審査を行ふこと、(二)國民の團結を強うし獨逸固有の美風を維持涵養すること、(三)總ての官職は適材を適所に置き科學、藝術上の施設は宜しく萬人に之を利用せしむること、(四)國民安寧の維持、國防竝軍事救護の事は政黨政派の念を離れて之を審査すること、(五)益、社會政策の發達を圖りて帝國の内的團結に資し、内地移住を奬勵して生産力の增加を圖ること、(六)政府と議會との關係を親密ならしめ兩者事務の進捗を圓滑ならしむることと等是なり。

一、帝國宰相は本協會の設立報告に對する回答に於て、今次の戰爭が獨逸國民を一致團結せしめたる大經驗を保存し、戰後國民精神の向ふべき所を定むるは、實に神聖なる遺産を保護せむとするものなりとて、大に本協會設立の趣旨を贊すると共に、之に對して滿腔の謝意を表せり。

* * *

千九百十五年二月二十八日帝國議會議事堂に於て、約七十の異れる階級、職業及黨派に屬する人々が、極密顧問官教授カール博士を座長として一の會合を催し、『自由祖國協會（Freie Vaterländische Vereinigung）』なるものを設立せむことを議決せり。其の趣意書左の如し。

本協會の趣旨

本協會の趣旨は、戰時に於て勃興したる國民的統一の潮流を、平和克復後に

目的

至るまで維持繼續し、此の統一、一致の思想を益、盛ならしめ、平時に於ても此の思想に從ひて行動し、此の思想を以て吾人の全生活を一貫し、政治上、經濟上及社會生活上の總ての範圍に於て我が國民發展の針路たらしめむとするに在り。固より平時に於ては戰時と異れる他の目的を遂行すべきは當然なりと雖、而かも此等の目的は、戰時と同一なる精神より發し、戰時と同一なる感情によりて維持せられざるべからず。

本協會の遂行せむとする目的左の如し。

一、獨逸人と最も密接なる關係に立つべきは、獨逸帝國臣民たる者の外あるべからず。獨逸國民たるものは、國民精神を無條件に承認するを要す。此の見地よりして現行法を審査すること。

二、自然及文明に促されたる數多の國民及國家の共同問題を除くの外、獨逸國民の團結を強くし、外國を過重視するの風を排斥し、獨逸固有の美風の顯れたるものあらば、努めて之を涵養維持すること。

三、總ての官職は憲法に準據するは勿論、事實上に於て才能人格共に適任なる者を之に採用するを要す。科學及藝術上の施設は、一部社會の占有に屬せしめず、あらゆる社會の人々をして之を利用せしむること。

四、國民安寧の維持、國防、竝癈兵及戰死者遺族救護の事は、政黨政派の區別を超越したる見地よりして之を審査すること。

五、凡そ國力の維持增進に必要なるものは、總て之を保護開發すべし。從來此の目的の爲に試みられ、帝國の內的團結に資すること大なりし社會政策は、獨逸の經濟の許す限り、常に其の發達を計るべし。國內人口稀薄なる地には、移住を奬勵して、其の生產力の增加を計り、今次の戰爭によりて獲たる經濟上の經驗に鑑み、生產者及消費者を裨益せしむる爲め、適切なる經濟上の計畫を立つること。

六、內治外交上政府と議會との關係に於て、從來よりも一層隔意を去り互に信賴し、以て兩者事務の進捗を簡便圓滑ならしむること。

七、國民の統一一致は、社會的共同生活及自由取引に於ても忘るべからず。

各種の黨派心、疑惑、憎惡の念を去り、以て此の精神を活動せしむること。

本協會は新に黨派を組織し、又は黨派の合併を企つるものにあらずして、輿論の特別の機關なり。隨て凡ての方面に自由獨立にして、危急に際しては何時たりとも其の本領を發揮し、國家の爲に貢獻する所あらむとす。

輿論の特別機關

本協會の理事左の如し。

理事

樞密司法顧問官教授カール博士(會長)
樞密商事顧問官エルンスト、フォン、ボル ジック(副會長)
商業會議所理事エーレンス博士
王立圖書館長教授フォン、ハル ナック博士
高等行政裁判所判事樞密顧問官シッファー
高等行政裁判所判事シュルチュス博士
パルウ、フォン、シュワ バッハ博士

本協會設立報告に對する帝國宰相の回答

北獨アルゲマイネ、ツァイツング紙の報ずる所に據れば、樞密司法顧問官教授カール博士は、帝國宰相に對し、二月二十八日を以て『自由祖國協會』なるものを設立したる旨を報告せり。帝國宰相は之に對し回答をなして曰く、『自由祖國協會の創立及其の目的に關する貴君の報告に對し、予は深く感謝の意を表す。諸君は戰時に於て勃興したる國民精神の潮流を平時まで維持繼續せむと欲す。思ふに今次の戰爭が、獨逸國民のあらゆる社會階級を通じて一致團結せしめたる大經驗を保存することは、吾人に取りては實に神聖なる遺産とも稱すべきものにして、各種方面の有力者が相共同して此の遺産を保護するは、抑者の喜悅し感謝して措かざる所なり。今や戰爭の目的を達せむが爲、即ち我が敵を滅亡せしめむが爲に尚ほ戰鬪を繼續し、外戰場に在る者も內家庭に在る者も、總て勝利の贏得を目的とするの外餘念なき現下に於ては、未だ平和締結の際又は戰後に於て解決すべき諸問題を詳細に講究すること、必ずしも容易ならず。吾人は自由なる思想上の競爭（カムプ）の束縛を脫すべき日の、速に

戰時の國民精神ノ保存は神聖なる遺産

戰後の經營には總ての階級の一致團結を必要とす

來らんことを望む。蓋し此の日は、則ち慘烈なる戰爭の終を告ぐべき日なるべし。然れども此の間に於て吾人は、豫め我國民將來の生活條件の要素たる、國民精神の向ふべき所を定むるを要す。予は本協會の趣旨は、實に此の國民精神の向ふべき所を定めむとするに在るを信ず。固より戰後に於ては、復び黨派の爭の發生するを免れざるべしと雖、國家存亡の秋に於て、國民のあらゆる階級黨派が互に和衷協同したるが如く、戰後の新なる內政上に於ても亦相協同し、上王侯より下勞働者に至るまで、國民の總ての階級の一致團結を見ざるべからず。今や國民は階級の區別なく、相與に國家の爲に鮮血を流して其の最善を盡し、而して神聖なる愛國心に滿ちたる國民の一致協同の力は如何に偉大なる功績を擧げ得るものなるかを經驗するを得たり。吾人は有爲にして勤勞心に富める國民を愛し、公明正大なる精神を尊重す。戰後に於て、外部に對し一層强大なる獨逸を、自由の精神と協同的愛國心とを以て、益〻充實せしむるの任務は、予の喜ばしき確信を以て迎へむと欲する所也』と。

第十一節　獨逸の馬鈴薯麵麭精神

（一九一五年三月十一日エヒョー所載）

（摘要）一、本篇は英國大藏大臣（現時の首相）ロイド・ジョージ氏が、威爾斯のバンガー市に於て爲したる演說にして、獨逸の所謂馬鈴薯麵麭的精神の恐るべきを說き、英國の勞働者、資本家等に警告を與へたるものなり。今其の要點を摘要すれば左の如し。

一、英國には大なる道德的力と多大の物質的資料あり、又既に召集せる兵士及將に召集せむとする兵士の數は敵に二倍するものあり。而かも之に十分なる武裝を施さずむば、まだ何の用をかなさむ。即ち今次の大戰に於て勝敗の因て岐るゝ所は、決して戰場に在らず、實に工場に在り。勞働者の勞働能率にして減衰するが如きことあらむか。英國の運命は終に危機に瀕するに至らむ。

一、獨逸に於ては雇主と勞働者と一致協同して其の力を一の目的に向つて集中し、馬鈴薯より麵麭を製して所謂馬鈴薯麵麭的精神を發揮しつゝあり。此の精神は實にヒンデンブルグの戰略よりも更に怖るべきものなくむばあらず。

一、然るに英國の勞働者は、賃銀値上、勞働日數減縮等の爲に、動もすれば同盟罷工を企てむとす。若し其の目的にして達せらるゝが如きことあらむか、結果遂に敵の潛航艇よりも更に恐るべき酒精中毒の爲、勞働能力の減退を見るに至るべし。英國の勞働者、資本家たるもの、宜しく思を是に廻らし、互に一致協同、大に努力奮勵して以て最後の勝利を期せざるべからず。

＊　＊　＊

ロイテル電報にては何等の通信なきも、近者英國大藏大臣ロイド・ジョージ氏の、ウェールスのバンガー市に於て爲したる演說は、注目に値する點甚だ多し。

同氏の演說は、要するに勞働者、資本家等に對して、大いに努力奮闘を要望せる、所謂救ひの叫びに外ならず。其の言に曰く、

『諸君の爲すが儘に放任せむか、英國は遂に亡國の悲運に陷るに至るべし。我英國は今や其の危機に際會せり。獨逸の軍隊は、猛虎の荒れたるが如く、鋭き其の爪牙は佛國の身體に觸れて、方に其の肥肉を喰ひつゝあり。此の猛獸は未だ我等が海岸には達せず。されど我れに二百萬の募集兵、及將に召集し得べき且つ召集せざるべからざる二千萬の壯丁ありて其の數實に敵に二倍すべしと雖、之に十分なる武裝を施さずむば、また何の用をかなさむ。抑、今次の大戰に於て勝敗の因て岐るゝ所は、決して戰場に在らず、實に工場に在り。獨逸に於ては、雇主と勞働者と能く一致協同し、極度に其の勢力を緊張しつゝあるに反し、諸君は、或は賃銀値上の爲に同盟罷工を企て、或は一週間の勞働日數を五日に減ぜむことを要求して息まず。若し諸君の希望にして達せられむか。諸君は遂に酒精中毒の爲め勞働不能の狀態に

勝敗の因て岐るゝ所は工場に在り

勞働者の能力良退せば勝利は期し難し

陷らむ。斯の如くにして我英國の運命を、奈落の底に陷るゝが如きことあるべからず。實に飲酒慾の害は、英國に取りて敵の潛航艇よりも更に恐るべきものあり。吾等は勝利を博せざるべからず、否な勝利を博し得べし。白耳義に對して道義的犯罪を敢てしたる國民の、永く存命し得べき道理なし。吾等は大なる道德的の力と敵を壓服するに足るべき多くの物質的資料とを有す。獨逸にして若し勝利を占めむか、是れ英國が、獨逸に壓倒せられ、其の奴隷となれることを意味するものにして、彼等は我が血管に流るゝ貴き自由の血潮を吸ひ盡さずむば遂に止まざるに至るべし。此の故に吾等は、飽くまで必勝を期せざるべからず。而かも技術的勢力（勞働者の意）にして衰退するが如きことあらむか、此の目的は遂に之を達する能はざるべし。諸君は恐らく、予が敵に知らしむるべからざるの言を弄しつゝありと思推するならむ。而かも此の事たる、敵の既に知悉せるものなることは、諸君の齊しく認め得る所なるべし。予は國民に對して知らしむべき所を自

大に恐るべきは獨逸の馬鈴薯麵麭的精神

ら默止する能はざるなり。眞理に背ける國民は、決して終局の勝利を得る能はず。吾等は鄙怯懦弱なる種族にあらず。今や吾等は勞働者、資本家及一般公衆の一致協力を望んで止まず。否吾等の一切の人の協力を必要とす。彼の獨逸に於ける顚覆すべき事象に對して嘲罵す。而かも見よ、彼の如何に馬鈴薯より麵麭を製するかを。予は言ふ、此の「馬鈴薯麵麭的精神」（Kartoffelbrotgeist）は嘲笑せむよりも寧ろ大に恐るべきものにして予は、此の精神は實にヒンデンブルグの戰略よりも、更に恐るべきものあるを信ず』。

クライドに於て同盟罷工を企てたる勞働者等が、木曜日の勞働を復活せむことを議決したるは、主として此のバンガー市に於けるロイド・ジョージの演說に原由せり。然れども其の罷工委員は、蘇格蘭東海岸及倫敦の機械工と意を通じ、政府にして、若しクライド地方の勞働者に對して壓迫を加ふるが如きあらむか、一齊に起ちて對抗的大罷工を決行せむとの約を結べりといふ。

第十二節　普國議會に於ける首相の演說

（一九一六年一月二十日エヒョー所載）

（摘要）一、本篇は昨年一月普國議會の開會式に際し、首相フォン・ベートマン・ホルウエヒが、皇帝に代りて爲せる演說なり。

一、首相は先づ、今次の戰爭の歐洲國民に及ぼす悲慘なる影響は、當然敵國に於て其の罪と責任とを負はざるべからずと冒頭し、敵の食料攻政策は書餅に歸し、獨逸は自給自立するの成算ありと述べ、次に今期議會に附議すべき重要案件として、所得稅及補充稅附加稅の增加、東普魯西州の再興、鐵道費等に關する事項を指摘して、議員の獻身的努力を希望し、獨り獨逸國民のみの有する神聖なる不撓不屈の犧牲的精神は、獨逸に對してのみ勝利を獲るの力を附與するものなりと斷じ、更に國民の最大任務たる戰後の國力恢復に說き及ぼし、終に最後の勝利は我に在りと結べり。

一、今や窮地に瀕せる獨逸に於て首相の此の言あり。固より國民の志氣を鼓舞せむが爲の意に出でたるものなるべきは、略、想像するに難からずと雖、而かもまた一面に於て、其の意氣軒昂として未だ衰へざるの狀を思はしむるものなしとせず。

* *

內閣總理大臣ドクトル・フォン・ベートマン・ホルウエヒは、皇帝の委任に依り、一月十三日（一九一六年）を以て、普國々會を王城の「ワイセン・ザール」に開會し、左の演說を爲せり。

王國議會兩院の議員諸君！

皇帝及國王陛下は議會を開き陛下の名に於て諸君を歡迎すべきことを本官に委任し給へり。

諸君は諸君の任務を盡さむが爲に玆に集會せられたるに際し、戰場に在つては尙慘憺たる戰鬪繼續せられつゝあり。我敵國は我に開戰を强ひたるも

獨逸は自給自立す

のなるが故に、歐洲國民が悲慘なる影響を受くるの罪と責任とは、當然敵國に於て之を負はざるべからず。

神は今此の危局に際して、我國民の實力を試みむとす。吾人は如何なる犧牲を拂ふとも、必ず終局の大目的を達せざるべからず。敵國が海外諸國との聯絡を遮斷して、以て我國を窮地に陷れむとするの計畫は、全く失敗に終れり。我國は自己の農業に依りて國民の營養を保障し、自力に依りて國防に必要なる工業を持續し、內に在る數百萬の勞働者は、此の難局に際して吾人の經濟的生活を支持す。而して戰場に於ける我國民の偉大にして勇敢なる行動は、到底他に其の比を見ざるや更に言を俟たざる所也。

世界を敵とせる我獨逸は、此の危急存亡の秋に當り、忠實なる同盟國の援助を以て其の地位を固守し、遠く敵地に其の國旗を飜へすことを得たり。我が國民の誇とし、且つ未來永却誇とすべき普國古來の武士道（ソルダーテンガイスト）は、我同胞たる墺國民と共に、今次の大戰爭に於て、其の不滅の活力を實現し、吾等が父祖の偉業に對して、更に不朽の榮譽を添加したり。吾等國民は我皇帝及國王陛下と共に、天佑と勝利の確信とを以て、將來益〻努力奮進せざるべからず。吾人の有する唯一の神聖なる思想は、國民の生命と安寧との爲に、國民の力の續かむ限り何物をも犧牲に供せむとするに在り。

皇帝及國王陛下は、國會に對する挨拶として、戰士に對する熱心なる感謝の辭を述べられむとするのみ。

今期議會に於ける諸君の任務は、主として戰爭に關係を有す。

戰爭の經濟上に及ぼせる一般的影響は、普國の健全なる財政に打擊を加ふること能はざりしと雖、而かも之を維持せむが爲には、歲入の增加を必要とす。此の故に所得稅及補充稅附加稅（Zuschläge zur Einkommen- und Ergänzungssteuer）の增加案を議會に提出せむとす。

今期議會に於ける議員の任務

オストプロイセン州の再興に就ては更に多額の國費を支出するを要す。同州は一たび敵軍の爲に侵略せられたるも、東軍の强襲に依りて之を敵手よ

東普魯西の再興

不屈不撓の精神

り脫せしめ、今や當局者の獻身的努力に依りて、其の狀態恢復の緒に着けり。同州の恢復に就ては、普國は勿論、獨逸帝國外に於ても多くの援助者及醵金者あり。是等の人々に對しては、皇帝及國王陛下は、同州が遠からずして舊の如く隆盛の狀態に復すべきを期待せられ、欣を以て感謝の意を表せらる。

今次の戰爭に於て、顯著なる效績を擧げたる我官設鐵道行政に對しては、今後尙注意を怠ることを得ず。隨て鐵道の增設及車輛の製作には、更に巨額の經費を支出するを要す。

諸君、皇帝及國王陛下は、諸君が今期議會に於ても、從來の如く獻身及果敢の精神竝に不撓不屈の精神に依りて、勤勉努力する所あるべきを認めらる。此の不撓不屈の精神は、今次の大戰爭に於て、獨り我國民に對してのみ勝利を獲るの力を附與するもの也。此の戰爭の大なる經驗に依りて、我國は更に偉大なる勃興を見るに至るべし。兵役に堪ふることを得べき者は、總て忠誠身を以て國家及國民を保護すべし。協同一致の精神は、平時と雖全國民の共同事

平和克復後の最大任務

業に於て變る所なかるべく、我行政、立法及立法機關に於ける國民代表の根抵の構成に於て、其の顯著なる事實を見るべし。戰爭の爲に蒙りたる損害を恢復し、我國民の大なる努力と犧牲心とに依て新生面を開くは、戰捷に依る平和の克復後に於ける吾人の最大なる任務なり。普國は危急の秋を經て勃興し、今や危急存亡の秋に當り確乎として動かざる也。今次の戰爭及勝利は、我國王陛下と臣民との根柢を鞏固ならしむるもの也。敵の壓迫は寧ろ我が自由の關係を益〻親密ならしめたり。

最後の勝利は我にあり

神は將來も亦我普國を保護して獨逸帝國の支持者たらしめられむことを望む。斯くて吾人は、最後の勝利を以て、此の戰爭の終局を結ぶことを得べし。

皇帝及國王陛下の命に依り、茲に議會の開會を宣す。

第十三節　墺國の兒童と軍務服役

（一九一五年十月七日伯林ターゲブラット所載）

（摘要）本篇はブコヴィーナ及東ガリシア作戦地帯に於ける兒童が、或は兵士の許に慰問袋を持來し、或は兵士の爲めに買物の用を辨じ、或は軍需輸送の手傳を爲し、或は敵の流彈を犯して榴霰彈、彈藥筒を捜して軍用金屬を拾集し、又成年者に代りて職業に從事し、或は新聞賣子となり、或は自動車の運轉手となりて、獻身活動しつゝあるの狀を描けるものなり。

＊　＊　＊

墺國の軍務服役法（Kriegsdienstleistungsgesetze）の制度に際し、世人は、學齡兒童が戰時に於て軍務に服すべき人々の範圍に屬するならむとは、よもや想像せざりしなるべし。臨戰地帶に生活せる吾人は、必ずや一度は研究するの必要ある一の興味ある現象を報ずることを得べし。小供らしき克己と、青春の熱情とを以て、當地の少年は、自ら進んで諸種の軍務に獻身服役せり。ブコヴィーナに於て、『軍童』（"Kriegsbuben"）と稱せらるゝ是等の勤務は、實に著大なるものなり。

露軍がブコヴィーナより退却したる後、我軍隊が此の救はれたる土地を占領し、其の兵站地を求めたる時、茲に此軍童の活動は始まれり。今や露軍がチェルノウィッツ市の近郊に其の陣地を占め、敵軍と我軍との間には、唯僅にプルート河を相隔つるのみの有樣なる時に當り、市の各地區に於ては、人も知る如く著大なる軍事的事變を惹起するに至れり。平時に在りては、場末の兒童の散策地及遊戲場として用ひられたる彼のワインベルヒ丘も、今は我が砲兵の作戰根據地と化せり。ワインベルヒより露軍の巢へる對岸のツッチケールの森林に向つて、殆んど毎日の如く、榴霰彈の響きを立てゝ飛ばざることなかりき。今や多くの就學兒童は諸高地に集ひたり。彼等は先づ小供らしき好奇心と無頓着とを以て作戰を觀望し、然る後間もなく其の活動を始め、或は兵士の許に慰問袋を持參し、或は兵士の爲に市中に出でゝ買物を爲し、更に進んでは軍需品の輸送をも手傳へり。砲兵の發射せる彈丸が敵に命中する毎に、少年等は熱狂して歡聲を絶叫す。戰鬪の終るや、彼等は一大衆團に群集し、夫れより

戰場に赴きて榴霰彈と、放射したる彈藥筒とを捜し、以て貴重なる軍用金屬の集取をなしぬ。斯る少年が流彈に斃れたること決して珍しからず。而かも以て少年を逡巡せしむるに足らざりき。露軍がプルート河流域より擊退せられたる時、少年等は輜重又は他の軍務に從事せり。兵士と共に戰線に立ち、眞の兵士生活を爲したる少年は、三十五人を下らず。彼等は塹壕に眠り、「グラ」式加農砲の使用によりて其の生を保てり。家族の人々は、數週間の後始めて彼等の居所を知り、之を連れ歸れり。されど少年等は、其の兵士生活を脫するを好まざりき。

流彈を物ともせず

市に殘留せる少年の活動

市に殘留せる少年等は、成年者に代りて職業に就けり。吾人は齡僅に十四歳を出でざる一人の旅宿業者が、ツエルモウイッツ市の中央に在る小旅館を久しく管理せるを見たりき。此の年少なる旅館管理者の發揮したる才能は實に驚くに堪へたり。彼れは敬しく會釋し、其の尋ねられたる問に對して明瞭なる應答をなし、各の客人に其の部屋を指定し、且つ極めて明瞭なる簿記を有

せり。又他の少年は同地代辨人(Platzagenten)となれり。彼等は最初には、買物をする爲め市中に來りし兵士と、商人との間に取引の仲介をなせしが、後には其の仲介業を廢して、自ら貨物を買入れ、之を兵士に販賣したり。斯る『商業少年(“Handelsbuben”)』は、チエルノウイッツに於て數十人を算し、彼等は其の順應性により、聯隊の多くの言葉を學べり。曰く匈牙利語、曰くクロアート語、曰く羅馬尼語。行商の方面に於ては、少年の活動頗る顯著なり。彼等は逸早く、兵士の新聞を購讀せむとする者多きを知り、兵士をして其の故郷の狀況を知らしむべき新聞紙を購求して、彼等に販賣せむことを當市の新聞販賣店に勸告せり。其の後間もなく、少年等が匈牙利の新聞紙を行商し、其の題目を匈牙利語にて叫びつゝ賣り歩くを見るに至れり。必要の資本なき者にして、案内人となり、兵士又は士官を商店に案内せるものも少からず。多くの學校兒童は、また通譯若くは擔夫として働けり。弊衣破帽の一少年が、立派なる自働車の運轉手の傍に乘りて、運轉手に對し此處彼處の陸軍又は他の官署に到るべき

軍童は家族扶養者

道を教へつゝあるを發見することも稀ならず。是等軍童中には、己が家族の扶養者にして、且つ支持者たるもの多し。元來彼等は多く貧家の兒童なり。其の父は戰場に在り、故に彼れ少年にして思慮に富める家父の役を勤めずむば、其の母又は姉妹は必ずや饑餓に迫るべし。此等の軍童は、今や我戰線に於ける有效にして多くの場合缺ぐべからざる要素とはなりぬ。斯くて筆に口に、盛に唱へられたる兒童の世期は、今や方に軍童の時代を齎せるなり。

第三章　軍資の醵獻

第一節　海外英人の獻金

（一九一五年十二月ユナイテッド・エムバイヤ所載）

（摘要）一、本篇は亞爾然丁共和國、錫蘭竝サンシバールに於ける英人の愛國心極めて旺盛なるの實例を叙したるものなり。

一、亞爾然丁のロザリオに於ける英人愛國組合は、十餘年前の創立に係り、既往に於ても活動の見るべきものありしが、戰亂の勃發するや、直に會合を催して本國應援の決議を爲し、先づ其の一着手として義勇軍輸送の事に盡力せり。

一、ベノス、アイレスに於ても開戰後間もなく、英人愛國組合の組織を見、爾來軍資金の募集、義勇兵の輸送、戰爭に因る困窮者の救助等に努力する所

勘からず。

一、亞爾然丁に於ける英人協會は、飛行機製作資金の募集を爲すの外、英國兵に對して讀物其の他の娯樂物を送り、英人經營の牧場は軍事用の馬、白耳義避難民に給すべき家畜を送れり。

一、錫蘭に於ける英人は、空中艦隊資金の募集を行ひ、之に依りて飛行機の製作せられたるもの既に四臺に及ぶ。

一、亞弗利加のサンシバール政廳は本國政府に一萬磅の獻金を申出で、又同殖民地在住の英人は資金を募集して、英國竝白耳義の赤十字社に寄附を爲せり。

亞爾然丁に於ける二個の英人團體

* * *

開戰當時に於て、亞爾然丁共和國内には少くとも二個の英人團體現存せり。一は亞爾然丁共和國英人協會(The British Society in the Argentine Republic)にして、他は英人愛國組合(British patoriotic Committee)是れなり。前者は大英國同盟會の支

部とも見るべきものなるが、當時は餘り盛大ならざりき。然るに今や千五百名近くの會員を有し、尚近き將來に於て之が二倍又はそれ以上に增加せむとするの傾向あり。後者はロザリオに在りて十餘年前の創設に係り、既往に於ても有力なる活動をなせり。而してロザリオ及其の附近に於ける英人の九割九分までは、之が會員たり。

英人愛國組合は戰亂勃發の後直にロザリオに會合を催し、本國應援の決議を爲し、其の結果、本國なる外相グレー氏に打電して、取敢ず百名の兵員を本國に送らむ事を申請せり。此等の人員は、皆醫師の健康診斷を經たる者にして、大部分は軍隊的訓練の經驗ありて、直に軍隊に服役することを得べき者なり。而かも旅費其の他一切の費用は政府の手を煩はすことなき者のみなり。然るに外相よりは、其の愛國的精神は深く感謝するも、申請は只今採用することを能はざるを遺憾とすとの答電ありたる爲、此の計畫は一時中止するに至れり。憶ふに當時に於ては、世界各地に於ける英人より、此の種の申請陸續として到

着したる爲、外相は四圍の狀況に鑑みて、此等の事項を整理する迄は、此の類の申請を一時拒否するの必要を認めたるものゝ如し。果せる哉其の後十日を經て、更に外相より來電あり、本國に於て其の名を顯はし、必要なる軍事的要求を充さんと欲する者は、此際採用すべしとの意を以てせり。

英本國に義勇兵を送る

此の間に於て三名の有力なる英人は、最初の返電を見るや、歸國の爲め要する多額の費用を自辨すること不可能なる者には、共同にて旅費を支辨し、或は幾分の補助をなさむことを企て、他の會員も大に之れに贊同したる結果、間もなく義勇軍の最初の一隊を輸送するの運びとなれり。而して此の計畫は、國家の召集に應じて陸續として歸國せむとする英人を取扱へる、ベノスアイレスなる亞爾然丁共和國英人愛國組合に於ても實行せられたり。斯の如くにして五千人近くの人員は、本國の軍隊に合することを得たり。而かも大部分は、自から其の旅費を支辨したる者なりき。

これより先（開戰後數日）、殖民局の奬勵に依り、首府ベノス・アイレスに於ても、

ベノス・アイレスに於ける英人愛國組合

英人愛國組合なるもの組織せられ、軍資金を募集し、義勇兵を送り、又戰爭の爲め困窮せる者を救助するを以て目的となし、最も有力なる活動をなせり。

最初此の會は、其の目的を二重にする事を避けむが爲、既に存在せる同種の團體を合併せむと企てたれども、其の希望は失敗に終り、現在に於ては二種の團體が同一の目的の爲に協力して活動しつゝあり。

殘留英人の寄附金募集

積極的任務に從事すること能はざる殘留者は、一般的資金及ウエールス公資金の二者に對する寄附を爲せり。此の兩資金は、既に一方は十五萬磅、他方は十三萬五千磅に達せり。ロザリオなる愛國組合は、其の寄附金を直接ウエールス公資金に送付の事に決定せり。其の額は大約六萬磅に上れるが、是れは五百名以下の英國生れの人員より成れる團體の寄附金としては、決して成績の惡きものとはいふべからず。而して吾人は他國民にして其の有益なる義金に對し、多大の同情を寄せたることを忘るべからざるなり。英人協會については募集せる寄附金を以て、リバー・プレートと號する飛行機製作の資に當て、

英人協會の飛行機製作資金募集

英人牧場本國に家畜を送る

而して今や第二號製作に對する準備中にして、尚續々斯の如き擧が企てらるべし。赤十字社は派遣員を還定し、此の目的に對する資金も既に二萬磅に達せり。又中央亞爾然丁鐵道に於ては、飛行機資金の募集に着手し、短日月の間に於て、必要なる金額を得むことを希望せり。多數の人々は此の鐵道に依り本國に歸りたるが、彼等は戰場に在りて、同胞が此の如く後方にありて彼等の援助をなせることを知らば、定めし歡喜することならむ。又白耳義救濟資金は四千六百磅に達せり。又ベノス・アイレス・ヘラルド紙は、赤十字社用自働車寄附の資金を募集したるが、一週間ならずして六千磅の應募を見るに至れり。而して第二號自働車の寄附金は目下募集中にあり。愛蘭生れの亞爾然丁人は、五千八百五十磅の戰時資金を有せるが、之を愛蘭軍人救護費、ウェールス公資金及英人愛國資金に分配せり。婦人連も愛國資金の募集に着手し、日ならずして二千五百磅の寄附金を得たり。又英人牧場にては、軍事用として英國に運送すべき五百頭の馬、及英國に於ける白耳義の避難民の爲に約二萬磅に

錫蘭に於ける空中艦隊資金の寄附

値する家畜を送れり。英人協會は英海軍の水兵に對して、絶えず讀物を送り、又艦隊及戰線にある軍隊に對しては、小動物其の他の娛樂物を寄贈せり。

以上述べたるはベノス・アイレス及ロザリオに於ける實例なるが、此の他、亞爾然丁到る處に於ける英人は、何れも本國の爲に斯の如き愛國的任務を果しつゝあり。

英國第一の直轄領たる錫蘭は、其の富力を以て本國の危機を援けたり。海外殖民地の代表者たるべき海外倶樂部(Overseas Club)に依りて、空中艦隊資金を募集せむとする計畫は、錫蘭に於ては多大の熱心を以て歡迎せられ、第一回の應募金は千五百磅に達し、之を以てバディバード・フロム・シロンと命名せり。而して引續きデウィル・バード・フロム・シロンと號する武裝飛行機製作費として二千二百五十磅を募集し、近頃更にナイト・ジャー・フロム・シロンと號する第三號飛行機の、製作費として二千二百五十磅を英國軍事局に寄贈せり。而して最後の送金と共に、尚獻金は陸續として申出てあれば、更に他の飛行機の、此の地

より飛揚するも近きにあるべしと打電せり。尙古倫母の有名なる法律家エフ・ゼ・サラム氏は、一個人として飛行機製作費に二千二百五十磅を寄附し、其の結果此の殖民地に於ては、既に四臺の飛行機を製作することを得たりと云ふ。

サンシバールの獻金

サンシバール政廳は、一萬磅の獻金を申出で、大なる感謝の意を以て受理せられたり。又同殖民地に在住せる英人等は、既に三千磅の資金を募集して、之を倫敦なる英國赤十字社に寄附せむことを長官に申出で、更に白耳義國赤十字社に對しても、幾分の寄附を爲せり。茲に注意すべきは右三千磅の寄附金の約九割迄は回教徒の寄附に係り、而かも彼等の大部分は中流以下の資產を有する者なること是れなり。

第二節　英國獻金美談

（一九一六年八月二十六日倫敦タイムス所載）

（摘要）本文は英國に於て戰費の獻納に對し、後世に傳ふべき美談の一片を收錄せるもの、一讀以て奉公心の發露を窺ふに足る。

*　*　*

(一)匿名愛國者の獻金

現時の戰役の歷史を編纂するに當り、「戰費の自由獻金」なる項目を逸脫せば、遂に其の戰史の完全を期し難かるべし。此等の材料たるべきものは、大藏省文書局に存在せる記錄にして、何れも帝國政府の受納したる自由獻金に關し、其の日時、數量及說明等を記せるものなりとす。

奉公人の發露

平時にありては、國民にして政府に獻金するもの殆ど之れ有る無し。蓋し今次の戰爭は、從來大藏省の知る所にあらざりし市民の新階級を形成せるものといふべし。而して此等獻金者は政府に其の金を貸與せるに非ず。彼等は實に之を政府に獻納せるなり。此等新市民は時に男子なる場合あり、時に女子なるあり、又小兒なる場合すら之無きにあらず。而して此の種の市民は今や帝國の凡ゆる部分、否世界の到る處に在住せるなり。爰に說述せむとす

る戰費ロマンスの題材たるは、即ち此種の人々に外ならざるなり。而かも其の物語りたるや、頗る茫漠たるものにして、其の男女主人公亦動もすれば暗き陰影の下に蔽はるゝの已むを得ざるものあり。然れども此の陰影にして稀薄なるものとならむか、則ち其の總ての陰影に伴ふの情緒たるや、燦然として輝くを見るべし。是れ即ち爰に其のロマンスの一端を說述せむとする所以なりとす。實に此の種の獻金たる、我全世界的友誼の聲にして、啻に我々國民に贈與せられたるにあらず。そは吾人の所謂不列顚帝國と稱する一個の理想に向つて寄與せられたるものならずむばあらざるなり。

其の獻金の奈邊より到來せるやを記述するは、是れ單に地理學上の一課程たるに過ぎず。吾人は今やサンダカンの名に伴ふ語音に、言ふべからざるの傳記的興味を感ぜざるを得ざるなり。蓋しサンダカンに於ける一會社が、左記の手紙を添付して大藏大臣に五百磅を送金したるは、誠に好個の物語として鑑賞するに餘りあらずや。

本州に於ては常に英本國の恩澤に浴せる事深きものあるに拘らず、帝國國庫に對し何等寄與する無きを悲しむ。此の故に本州は爰に微少言ふに足らずと雖、現時我國民の負擔すべき財政上の責務の一端を分擔せむことを熱望するものなり。幸に我州民の爲に、上記の金額を嘉納して何等かの使途に供し、以て我州民が歡喜して其の職責を果さむとするの徽意を容れられむ事を希ふ。

ニューデャーシーなるサンミット市に於ける一米人は、英帝國に對し支拂小切手を發送せり。又、ニューデャーシーより支那に至る間に於て、吾人は一組の夫婦にして互に相談の結果、最後に母國に對し、四桁の數字を記入せる爲替を送付するとを決心せる者あるを見たり。予等は又支那より加奈太に至るの途に於て、殆ど五十年以前キーハムに於て工科學生たりし間に、彼が政府より支給を受けし金額を返納するの意味を以て、二百磅の小切手を認めつゝある一人の男子に遭遇せり。サスカチエワンに於ては、一老人が痛快にもネロ・ジュダス・ア

貴き十志

ナニアスの合體人物として想像に描けるカイゼルを打たむが爲、吾人に助力せむとして二十磅の小切手を認めつゝあるを見たり。而して彼の言に曰く、『多くの勇士が邦家の爲め其の身命を抛たんとしつゝあるの秋に當り、配當金を以て戰費に投資するが如きは眞に一些事に過ぎず』と。又彼は軍資の獻納を爲さむ事を欲する者に附與する爲、特に謝狀又は標章の如きものを印刷せむ事を大臣に請願せむとせり。

(二)老年者及幼年者よりの獻金

此等の麗しき獻金者の多數は老年者にして、又其の幾分は貧困者なりとす。彼等の一人は書して曰く、

予は我國家に對し資金を貸與する者多きを知る。然れども其を獻納する者に至りては未だこれ有るを知らざるなり。故に予は爰に自ら其の先驅者たらむと欲す。即ち一週三十志(一志は凡五十錢)の收入を有する一老人たる予は十志を獻金す。而して後日再び獻金する所あるべし。此の獻金たるや、予は聊かたりとも負債なるものを有せざるを以て、眞正に予自身の金なる事を承認せられたし。予は之に對し何等利札を要望するものにあらず。

可憐なる獻金

七十歳の一老人より。

少年少女の一紙半錢、又以て戰費ロマンスとして語るに足るべきものあり。而して此等は適宜に類別せられたるを見る。曰く、「戰費に對する少年少女の獻金」、「學校生徒の軍資醸金」等の如し。彼のウォンダーランドに於けるアリスの如き一幼女は、其の貯金を掻き集め、覺束なげなる手にて認めたる可憐なる手紙を添へて大藏大臣に送付するあり。爰に其の所謂アリスよりの手紙を示さむか。曰く、

私は戰爭に入り用のお金を補助する爲、私の小遣の中より一志をお送り致し候、父はあなたが其の金を御集めなされ居るやう申候、私は七歳の少女にて私の叔父二人は戰爭に出て居り申候。

而して、爰に其の父の附記して曰く、

右は全然彼女自身の考より出でしものにて候、彼女の遺憾とせるは、其の金額の餘りに少額なる事に候へ共、彼女は之が爲め其の小遣箱を空虛に致したる次第に候、何卒如何樣の御處置有之候とも、此の金は決して御返却被下間敷候、然らざれば彼女は甚しき不快を感ずるに至るべく候。

我大藏事務取扱委員は之を返送せずして、之に「感謝す」と記し、受理の手續を講ずべし」との命を發せり、かくして其の所謂受理手續は講ぜられ、纔て我厄大なる財政機關は此のアリスの半錢を回收する爲め運轉せらるゝに至りしなり。固より彼女の名はアリスにはあらず、されど極めて可憐なる名なりき。

現役將校よりの獻金亦少しとせず。或者は一年間の俸給全部を獻納したりき。又退職將校よりの獻金中、現在頗る遠隔の國に在住せる勇敢なる一紳士よりせるものあるを見たり。其書簡に曰く、

予は豫備軍に編入せられむ事を出願せること已に二回に及びしも、聽力不充分の故を以て許可せられざりき。予は數年間砲兵士官たりしが、曾て砲火の爲め聽力を失し、除隊後何等の扶助料を受くる事なくして今日に至れる者なり。

予は此の遠隔の地に在りて却つて戰爭の眞相を捕捉すること內地に住する者に比し遙に容易なるを想像す。蓋し予等は此の地に於ては何等誇張の言を混へざる報告を得べければなり。而して我軍隊の從事しつゝある驚愕すべき戰鬪の狀況を知り、又彼等の演じつゝある華々しき勇武の有樣を知るに於ては、予等爰に閉店して何等國家に寄與する所なきを悲しまざるを得ず。

予は服役は許可せられざりしを以て、せめて此の獻金なりとも受納せられむ事を希望し、爰に予の銀行預金全部を送金するものなり。

之と同樣なる精神の發露を、次の一勞働者より匿名信書に於て見ることを得べし。

粒々皆辛苦

予は本國政府、又は其の他必要を感ずる當局の用途に供せむが爲、爰に二十磅十志を送金す。最初予は軍事公債として其を貸付せむと欲せしも、今や之を奉獻せむと決心せり。此の微々たる小金、眞に大海の一粟たるに過ぎざるべきも、此等個々の一粟の、やがては戰勝の因たらむ事を思ふものなり。

此等獻金は月賦金の形式を以て送付せらるゝを多しとす。亞細亞に於ける某地に住居する者にして、戰爭終局に至るまで、毎月大藏省に或金額を送金すべき樣其の銀行家に命令せるものありき。最巨額なる獻金を爲せるもの、數名は全く匿名なりき。一名は五千磅を獻金し、他の一名は四千九百五十磅を獻金せりき。

婦人よりの獻金亦尠からず。左記は一婦人が百磅の小切手を封入して送りたる書簡なりとす。曰く、

妾は貴下の回章を手にせる英國婦人の一人にて候。妾は如何にもして

我祖國の爲に盡忠の誠を致さむと存候へども、何分にも年老ひたるもの、事に候へば、何事も思ふに委せず候。妾は此の恐るべき戰役により金を作らむと欲するものに無之候。故に何卒此の封中の金員を御收納被下度。尚決して之と引換にはれ候。實に其は妾に取りては、「血の代價」の如くに思國庫債券を下付せらるゝ等の事は無之樣相願候。

(三)貴ぶべき機關夫

貧民の愛國心亦絶大なるものあり。我海軍は勿論、我國家が、貨物船及トロール船の船員としての彼等の勇武に倚る所甚大なる商船員の赤心を披瀝せる一機關夫よりの書簡にして、珠玉にも比すべき貴重なるものあり。彼は寧ろ過激なる文字を以て其の本心を開陳し、同時に彼が何等禮儀に適はざるの方法を以て大臣の慇懃なる勸誘に答ふる事の無作法なるを陳謝せり、然れども彼の激語中には勇者の聲を聽くを得べし。即ち彼れ書して曰く、『閣下よ、予は只今地獄より歸來せり。即ち予は醜怪を極めたる下級海員の一群中よ

老愛蘭人の僞らざる告白

り出で來ればなり』と。斯くして彼は自己の職掌を叙して曰く、

予は濠洲より一萬一千噸の食肉を齎せる一船に乘組むの光榮を有せり。而して我々は更に多くを輸入すべく近く再び歸航の途に就かむとす。語法の拙きは平に寛恕せられ度し。蓋し語法の可否は一般に紳士の多く問ふ所にあらざればなり。予は手始として爰に一磅を封送す。

然り疑もなく、又確に、語法は重きをなすものに非ず。所詮此の一機關夫の意氣の高尚なるは、やがて獨逸の腐儒をして顏色なからしむるに足るべきか。

總ての獻金中最も痛切なるは、一人の貧困なる老愛蘭人より來れるものなりとす。實に彼の手紙たるや無意識の哀感と諧謔とを混じたる極めて痛切なるものなり。

予は兼てより苦痛を感じ居たりし頭部の漫性加答兒症及血管僂麻質斯の爲、貴下の勸誘に對し直に答ふるを得ざりき。

予は家に二兒を有す。一兒は黃疸症を有し、他の一兒は頭腦變調を來し、常に獨り言をのみ言ひ居れり。

予は何等かの方法に依り國家に盡す所あらむとし、從來予の知る所となりし、凡ゆる慈善事業に對し、多くの喜捨を行へり。

予は貴下が之を快く受納せられむ事を信じ、今玆に一磅の獻金を送らむとす。然れども予は國庫債券を購ふべきの金を有せず。故に若し予にして何等かの使役に値せば、予は喜んで此の一身を提供し、以て邦家に奉ぜむとするものなり。同樣に予の息子をも奉獻せむ。是れ予が僞はらざる陳述に外ならざるなり。

第三節　獨逸皇帝の優詔

(摘要) 本勅語は、千九百十五年五月獨逸皇帝の海外獨逸人に下し給へる所に係り、海外在留の獨逸人が、或は義捐金の募集に勉め、或は個人獻金をなす等、後援事業上敢て在鄕國民に讓らざるの熱誠なる覺悟を示せるに對して、

威謝の意を表すると共に、將來奉公心の益〻旺盛ならむことを希望せるものなり。

＊　＊　＊

永きに渉れる平和の後、朕が命に依り武器を執り得べき男子が、愛する祖國及遠き海外の各地より軍旗の下に馳せ集まるや、留まりて內に在る男女老幼は神聖なる熱烈の至情を以て、擧つて我が戰士の後援の衝に當らむとするの熱望を喚起したり。

海外獨逸人の奉公心は在鄉國民のそれに劣らず

此處國內と同樣に海外獨逸人の居住する地に於ても亦然り。

朕は海外在留の獨逸人が、我が勇敢なる將卒に對する救護事業上、其の祖國に在る同胞との高尙なる競爭に於て、敢て一步を讓らざるの覺悟を有する旨、卿の報告に接し、頗る滿足に堪へず。遠く海外に在る獨逸人も、亦獨逸の領域內に於ける獨逸國民と其の思想感情を一にし、後援の事業に依りて兵力を强大ならしめ、戰爭の苦痛を減ぜむが爲に相協同一致せむとするものなること

は、資產豐なる者の莫大なる義捐金よりも、寧ろ俗財乏しき者が衷心よりする零碎なる醵金に依りて、明に之を證することを得べし。

犧牲心は今後益〻旺盛とならむ

海外の友人も、亦加入したる義捐金募集及個人獻金の結果の豐富なるに徵し、從來の熱誠と犧牲心とは、今後に於ても決して減退することなかるべく、且つ出征將卒に對しては勿論、主として私人の同情に依りて維持せらるゝ國內の救護施設にして、政府の戰時救助施設を援助しつゝあるものに對しても、更に海外より多大なる資金の集り來るべきは、朕の堅く信じて疑はざる所なり。

義捐者の奉公心を謝す

朕は玆に、海外に於ける義捐者の甚大なる奉公心に對し、感謝の意を表せむとす。

朕は本勅語を公布し、且つ適宜の方法を以て海外に於ける義捐者に之を周知せしめむことを卿に委任す。

千九百十五年五月九日大本營に於て

ウイルヘルム

帝國宰相宛

第四節　海外獨逸人の犧牲心

（一九一五年四月二十二日エヒョー所載）

（摘要）一、本篇は南米ボリビア及ペルーに於ける獨逸人の熱誠なる奉公心の一端を示したるものなり。

一、ボリビア在留の獨逸人は、祖國の將に戰禍に瀕しつゝあるの報到るや、直に會合を催し、戰亂勃發の場合に於て、祖國に備へむ爲義捐金の募集を爲し、ペルーに於ける獨逸赤十字婦人會は、出征軍人の慰藉及戰死者遺族扶助の資として、二萬餘馬克を獨逸皇后陛下に獻上し、更に獨逸赤十字中央委員會の費用竝戰死者遺族扶助料として、五萬馬克を本國に送付せり。

（一）南米ボリビアに於ける獨逸人の犧牲心

南米在留獨逸商人の手柬

十五分間に二萬五千馬克の義捐金募集

數年來南米に在留せる獨逸商人が、近頃漢堡に在る父の許に送りたる手紙は、以て海外に於ける獨逸人の犧牲心の旺盛なることを知るに足るものあり。該手紙は、八月二日の日附にてボリビアなるラ・パスより發したるものなり。其の一節に曰く、

『拜啓小子は「獨逸國」萬物を超越し世界を超越せる獨逸國」なる歌を、我が幾千の同胞より常に耳にするが如き心地致し候。當地の新聞に據れば、吾等が熱愛する祖國は、今將に戰禍に瀕し居り候趣願くは神が吾等に最善を與へられむことを祈居候。獨逸領事フォン・ザンデンは、一昨日當地在留獨逸人を召集致候處、殆ど總ての獨逸人は會合する者約百人に有之候が、戰亂勃發の場合に於て祖國に備ふる爲、忽ち二萬五千馬克を募集致候。之は僅かに十五分間に於ける出來事にて候。開戰愈、事實と相成候曉には、更に莫大なる金額の集まるべきは、小子の確信する所に御座候。云々』と。

（二）ペルーに於ける獨逸人の犧牲心

ベルーに於ける獨逸赤十字翼賛婦人會の活動

ベルーに於ける獨逸赤十字翼賛婦人會は出征軍人の慰藉及戰死者遺族扶助の資として二萬四千馬克を皇后陛下に獻上せり。此の金額の一部は殖民地の婦人會の行へる富籤の金にして、他の一部は獨逸商人より贈らしたるものなり。ベルーには獨逸の移民其の數多からざるのみならず、其の大部分は餘り富裕ならざる者にして、加ふるに同地一帶が獨逸人の此の種の企てに對して、好感情を有せざるを思はゞ、此の額少なりと雖、婦人會の勤勉努力の賜にして、大いに感謝せざるべからざるなり。此の外從來婦人會が月賦により又は種々の小事業によりて醵金したる額は、既に五萬馬克に達す。此はリマに於ける赤十字翼賛會本部を經、獨逸赤十字中央委員會の費用及戰死者遺族扶助料として本國に送付せられたり。

第五節　伯林赤十字社の後援事業

（一九一五年十月三日伯林ターゲブラット所載）

伯林赤十字社中央委員會の寄贈品保管所

（摘要）一、本篇は伯林赤十字社中央委員會が、開戰後一年間に於てせる、出征軍人寄贈品募集及分配の成績を述べたるものなり。

一、該中央委員會は寄贈品保管所なるものを置きて、出征軍人に對する寄贈品の募集及分配のことを掌らしむ。而して其の事業は極めて好成績を示し、保管所に於て取扱へる出征軍人寄贈金品は約五百萬馬克に及ぶ。

一、中央委員會は出征軍人に對する寄贈品の外、更に出征軍人家族、遺族、娙産婦及子を乳養する母、被侵略地よりの避難者、捕虜となれる獨逸軍人等に對する寄贈金品の募集及分配をも爲せり。

* *

伯林に於ける赤十字社中央委員會の設立に係る『寄贈品保管所(Materialien-depots)』が、開戰以來一年間に於てせる、寄贈品の蒐集及分配の事業は、極めて良好なる成績を示せり。獨逸各地及米國其の他の諸外國より中央委員會に集まり來れる寄贈品は、『寄贈品保管所』に於て保管し、此所より政府の寄贈品

寄贈品の總額

取扱所兵站監部、軍團、軍隊、停車場に於ける出征軍人慰勞所、野戰病院、內地病院其の他必要なる方面に發送せらる。斯の如くにして伯林の赤十字社中央委員會より分配せられたる寄贈品の高は、其の價格約三百五十萬馬克に達し、尙ほ目下發送準備中のもの五十萬馬克を算す。卽ち伯林中央委員會が、直接開戰一年間に出征軍人の爲に募集したる寄贈品の高は四百萬馬克にして、其の內百二十五萬馬克の物品は、寄附金を以て委員會の自ら購買せるものに係れり。其の他中央委員會の費用を以て、諸種の寄贈品取扱所、募集所、代理店等に於て購買したる寄贈品（多くは贅澤品）の高、約八千萬馬克を算するが故に、開戰一年間に於て中央委員會の直接間接に募集したる寄贈品の總額は五百萬馬克を下らず。

出征軍人の家族、寡婦、孤兒、姙產婦及子を乳養する母に對する無數の寄贈品、東普魯西、エルザス・ロートリンゲン及外國より避難せる者の救護、捕虜となれる獨逸軍人等に對する寄附金は前揭の金額中に包含せず。

寄贈品の種類及價格

今寄贈品の種類及其の價格を擧ぐれば左の如し。

一、衣類（肌衣類）	一、〇五九、四五二、一〇	馬克
二、煙草類	一四〇、六六〇、八三	
三、贅澤品及食料品（鑛水供給部ヨリ送付シタル鑛水二、八二三、九五〇壜、六六一輛ヲ含ム）	八二三、二五五、六五	
四、樂器	三、四一六、〇〇	
五、酒精飮料及果物液汁（鑛水供給部ヨリ送付シタル果物汁一〇、九八二〇立突ヲ含ム）	二八四、四三四、四〇	
六、戰時病院用材料類	二二〇、四四〇、六五	
七、雜（クリスマス贈物、軍團司令部及海軍ノ寄贈品取扱所及募集所等ニ直接送付セラレタルモノヲ含ム）	九三五、九七二、六八	
八、取扱所及募集所に於て寄附金を以て贅澤品を購買したる金額	八〇〇、〇〇〇、〇〇	
九、目下發送準備中の寄贈品	約　五〇〇、〇〇〇、〇〇	
合　計	四、七六七、六三二、三一	

卽ち中央委員會に於て蒐集したる寄贈金品のみにて、既に約五百萬馬克を

獨逸帝國及普國赤十字社中央委員會の收入合算額

算す。

獨逸帝國及普國赤十字社中央委員會の收入を合算するときは、其の額實に二千萬馬克に上り、其の支出は追て報告すべきも、概算千六百五十萬馬克に達す。普國以外の各聯邦赤十字社及普國赤十字社州支部竝赤十字社愛國婦人會及其の支部の收入及支出は、右金額中に之を包含せず。

伯林に於ける赤十字社中央委員會の寄贈品募集及分配の事業は、其の經營する大事業の一部分たるに過ぎず。而かも全國民の犧牲的助力に依りて斯る好成績を擧ぐることを得たるは寔に喜ぶべきことにして、之が寄贈者は最後の結果に於て大なる報酬を見ることを得べし。右の如き成績は、未だ寄贈を爲さゞる國民に對し、此の善美の事業を贊助すべき警告ともなるべし。吾人は國民擧つて、伯林に於ける赤十字社中央委員會に對し、寄附金品を送付せられむことを衷心希望して息まざるものなり。

戰時列國

地方資料　第五輯　畢

大正六年十一月九日印刷
大正六年十一月十二日發行

內務省地方局

印刷者　東京市京橋區瀧山町六番地　小川邦孝

印刷所　東京市京橋區瀧山町六番地　東京製本合資會社

電話新橋一七九五番・七九六七番

326
211

終